

れからずーっと後悔せんならん...

▼で、とうとう私も12日朝6時におきて、7時20分のト
コーキで、8時半にはもう高松の四国電力本社の前や。

▼ぼくは11日の朝4時まで原稿かいて、朝6時半に起き
てトコーキ。エエイ、お金のことなんか云ってられるかい
と。

▼和歌山のいなかで百姓をはじめてるHから10日に電話
があつてな。高松へ行こうと縁側でゼツケンつくつくと、た
ら、近所で百姓や、てるお、ちゃんが遊びに来て、ヨそれ
何や、というから、伊方原発の出力調整実験のこと話したら、
ふだんあんまり、そんなことに関係なさそうに思ってたその
お、ちゃん、ヨ車で行くんや、たら、わしもいっしょに連
れて、てくれや、というねんけど、万一のとき責任ようたら
んし、どないしよ、という相談やねん。

▼そのとき、わたしはすぐ「百番目のザル」の話思い出
したんや。これはもう、ぜったい一万あつまると思たもん。
ホー、Hから、^{いなか}ことも反原発で、高松まで行くようには、
見えんもん。
運動ギライ

▼5日の虹の会の発送作業のときも、Nくんがホッピー

▼3月27日(日)、しましを狼煙をもつ大集まり

此花会館(西八条)一時より

に、「これは、ラストチャンスなんや。ラストチャンスや
からさそてるんや。他の用事はそのため、ボクは全部こ
とわった。このまえの1月25日四国にいて、ひよ、とした
ら僕ら自身の方で原発を止められるかもしれん思た。一な
にかがほんとうに变りはじめてるといふ実感があつた。こ
れはラストチャンスや。

もし事故がおこつてしまつたら、そのあとで一体僕らが
何をするというんや...と。Nくんは無口でほとんど話
を交わさないし、ひとを何かにさそ、てるのなんか見たこ
となかつたから、うちはそんなときびっくりした。

▼はじめ別府の小原さんが広瀬たかしさんの話を聞いて
いてもたつてもいられなくて、全国を走りまわつて四国行
動の呼びかけをし、それがアットという向にひるがった。

▼署名は12日の時点で90万集、たといつてたけど、た
た二ヶ月で。

▼小原さんの訴えを聞いたその次の人が次の人に訴え、
その人がまた次の人によびかけるという何重もの輪になつ
ていつて広がつていつて、今回の大行動になつたんや。

▼比較でけんけんけど、9.14千人集会の時も、私らが呼び
ひとりびとりの狼煙をもつてかけつけて下さい。



Eiko ①

かけただけの範囲でやったとしても千人にならんか、たけど、しやかりきの私らの呼びかけを受けとめてくれた一人一人がカンカンになって、さらに呼びかけの輪をひろげてくれた。それで千二百人も一人一人として来てくれは、たんやもんな。

▼ 今回から、小原さんだけやしに、原発の話を聞いた一人一人がほんまに必死になった。

▼ あちこちで、ひとりひとりが自分のまわりの人に真陰に語りはじめてる。

▼ やっぱし、人を動かすのは、まず自分が一生けん命にならんとやとつくづく思った。

▼ 今回の四国行動では

① この行動は参加者の一人一人の意志と責任において実施されるものです。

② 行動全体を指揮、

統率する団体や個人は

ありません。各個人、グループが自らの正義と責任で判断し、行動して下さい。③ 「非暴力」ということが政治」という三つの申し合せと、まるきし同じ内容やで。

グアイ、グインについて

▼ 高松の四電前に私が着いたんは、ちようど八時半。もう車道にも歩道にも人がいっばいで、思い思いのプラカード、アップリケの横断幕、バデバデポニキヨは、もうグループや虹の会の車売特許やなくて、ぶつうのカッコしてる方がはすかしいくらい。

▼ あるグループがニュープレセコルをしてくるかと思えば、あるグループは鉦や太鼓をならしてる。と思えば黙々と道路にキョークで字を書いている人もいるし、キョークを配ってる女の子がいる。

▼ 四電が敷地のまわりにつくったバリケード柵に、横断幕やのぼりや、花をくくりつけてる人もいる。

▼ それに四電から一つおいたとなりが教員寮で、その通路には隊列をつくった④がびっしりつまって、態勢とこの

ったーという感じ。

▼ 刻々あつまつてきた人たちがもう千んちかく。幅ワメートル距離約30メートルほどの道路上に立ち群がって…。(道路に面して中央右より四電入口があって、そのあたりはとくに人がいっぱい。車も通りにくいほど)

▼ 8時50分ごろ、松下竜一さんが夏門の方から走ってきて、放送車の上にあがって

「9時から実験が開始されます。みんな抗議をこめていっせいにダイ・インをしましょう。想像力をとぎすまして死体になりましょう。」と呼びかけた。

▼ 実験開始を目前にして、どうしようもなく時間が拡散してざりざり経っていく…というときやったから、実にエエ提起やった。

▼ 戦術的にも局面をアクティヴに転換し、緊張と集中状況をつくり出すというきうかけをつくり出すもんやった。

▼ ところが、それまでマイクを持って話をしていたのさくんが、松下さんの提起に対して「いまのはあくまで個人提案です。ですからダイ・インするのもしないのも各人の自由です」という意味のことをいわはった。

▼ 別に悪意があつたのでも、ダイ・インに反対するといふつもりではないと思うけど、作用として水かけるようなこと、わざわざあのときに持出すのは、ちよつとまずかつたね。

▼ 「申し合せへのあまりにも拘り丈規なこだわりというが、硬直した「自由連合」やな。

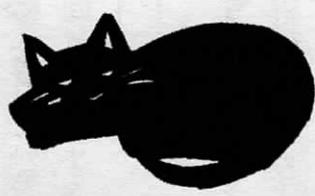
▼ いや、それは「自由連合」と云うよりは、逆にあらわれた、やっぱ統一志向というべきやろ。

▼ 「統一的なことは一切アカン」ということでの統一やな。

▼ 自由連合のオーの特質は、他人の行動に文句ついたり、制止したりを絶対せえへんーということやからな。

▼ みんなが一しよに行動をするとき、どうしても「指揮」や「命令」を必要とすることがある。つまり掛声や。

▼ その時、誰かが掛声をかけなでけん。▼ ただ「命令」や「指揮」が、強制的でないこと、「合意」を前提とし



eko

▼ 3月27日(日) いまこそ狼煙を!!。大集束会。ゲストに若井井まり子さんとのお父さんの若井井幹夫さんをも仙のからおよびしています。ぜひあでかけ下さい。

てること。

▼ せやから提案いうか呼びかけは(やめてこい)うんでなく・こんなふうにするう。いう方向でなら(なんぼ出してモエエねん。

▼ みんな「よしよし」というても、賛成するもんだだけかゆるねんからな。

▼ 賛成せん人は、やらん代りにじやませんことがオー。

▼ もし反対やったら、その代りの行動を提案する。

▼ 競争的共存で、結果として相互に協力する。

▼ 私ら、いま「Q時です」という声で、道路の右端で、少しまばらなとこにいたから、まん中に出て、6人が手をつないで頭を中心によせて、まるく円になって「ダイ・イン」した。

▼ みんな着や青や赤やピンクのハデなボンキヨをつけてたから、まるで大きな花が南いたようにきれいやったよ。

▼ ほかの人はみんなぶうやうたんやう。うちらうつぶせになってたから、まわりのようすよあちカラへんかったけど……

▼ 「ダイ・イン」するには、四電のバリケード前のごとくに

大半がかたまりすぎてたんで、ねころびにくかったみたいで、足を折りまげたり、首だけあげてまわりを見廻してたり、坐ったりして塵なりあって、それでもまあ80%くらいの人「ダイ・イン」したんやないかな。

▼ でも、2、3分ぐらいからポツポツ立上ったりして最後に残ったのはうちらぐらい……

▼ まわりがザワついてきて、首をあげてみたら、あたしらのまわり2、3%くらいは坐りこんでた

▼ ぼくハンドマイクで、坐って、坐って、エ、うたんや

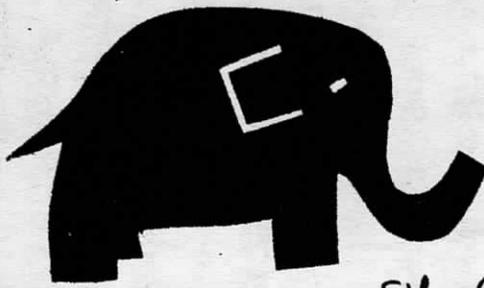
▼ 「ダイ・イン」する時は、手をひろげてぶつからん位にすってひろがらんとねにくいね。

▼ それと、足をのばしてうつ伏してねる。

▼ 顔を壁の上のせるこいよ。

▼ あおむいてもエエけど、排除のときか、えられやすいし、機動隊のうごきなど見えるから動揺する。横むけは、どうしても足をまげるようになるし、やはり選ばれやすい逆勢やな。

▼ うちら足をすっきりのはしてうつぶせになんかやけど、なにしろキエつないごるもんで、顔は楯になるやう。



Eiko (2)

▼ いっしょに排除してもらおうという気がまえて、立って
 るもんがどんどん坐りこむ。それがこちらの対抗戦術や。
 おしかえしたらもうそれで勝負は決まったようなもの。
 ▼ うちら六人、あのときそれでもまだうつ伏せにじいっ
 としてたら、頭や足をぶみそうに足が入り乱れて倒れてく
 る、もうねてられへん。

▼ 車の上のマイクも「立上って下さい」と叫ぶし、「ア
 ブナイヤないか、スグ立てしと、とうとうムリヤリ立たさ
 れてしもた。かれこれ、それ

がの時半ころかな。
(私達は非暴力主義者というべきが)

▼ お定りの「暴行反対」
 カエレ カエレコールだけ
 やから、私、車の上のマイク
 に走って行って「みんなが落
 ちつくように、いうて下さい
 」「いうたら、「こんなときお
 こるのはあたりまえや」といわ
 れた。
 ▼ ほく、おしめいをやめさせ

ようと前に出たら、女の人が「何いうてるの、こんなとき
 坐り込む場合でないでしょ。みんなで機動隊をおしかえす
 のよ、みんなでやればやれるのよ。この日知見主義者」と
 いわれて、「もうこの場合、ほくのいうのがムリヤ」と、
 せいでおし手に転換した。

▼ たしかに、こっちの方が圧倒的に人数が多いんやから
 機動隊をおしかえすことはたろうと思えば可能や。でもそ
 の場合は、はじめからそのつもりの人たちのグループがす
 ぐ前に出て態勢をつくらんとムリや。

▼ こどもがまじってたり、生れてはじめてこんな場面に
 ぶつかつた人がほとんどの時は、そうはイカン。

非暴力の道徳行動とは

▼ 坐り込みがつぶされて、その時誰かが一人連れ去られ
 て、みんなが口々に何かを叫んで騒然としながら、まてま
 りかない状況のなかで、(*)は予想に反して(+)と反転して
 うしろへ下ったんや。

▼ すると新しい隊が、道路の右端を仕切るように横三列
 にならんでおし出してくると、ちよっと交通セイリのように

に対峙する形をとってきた。

▼ それで女グループがすぐそれにむかっ、てピクをはったんやな。

▼ うん。男たちがちよ、かいを出したり、挑発にのったらまたおしいになる。

▼ わたしら女が前に出なアカンいうて、その場に居合わせた4、5人が横一列に(⊕)に向きあって、手をつないで歌をうたい出した。

▼ 「さあ、みんな手をつなごう」いうて、そばの女たちもそれに加わってきて、はじめは10人位の一列や、た。

▼ ぼくはハンドマイクで「いま、この右端で大阪の女たちがうたをうたってピクをはってまーす。女の人、どうか応援して下さい」というて、ずうつと云うてまわったんや。

▼ それ、おいちゃんやなくて、女の声で「はよ、みんなきて助けてエー」と訴えたら、もつと女の人たちがかけつけて列に加わ、てきてくれたと思うけどな。おいちゃんやと単なるアナウンスみたいで、緊急性がとけへんからな。

▼ そうや。ほんまにそうや。それでも戻ってみたら女グループのうしろに四五十の列が出来てた。

▼ あんなとき、全体の状況と動きについて車の上のマイクで時々いうたら……と思っ、たけど……。

▼ 道路の右はしで起、てることは、もう20メートルも離れた真中では、わからへんもんな。

▼ さわぎがあること、とあ、とそ、ちへ寄っていきけど、車のマイクも興奮して、応援のつもりやうけど、かえて、燃り立てるこになつて……

▼ もどってきた時、(⊕)との対峙の間隔がメートルほどもなくなつてぶつかりそうになっている。

▼ せんでH子さんを見つけたんで、このマイク持、て列に加わ、てーというた。

▼ いっしょにうたいながらはみきをつけて、まわれ右してみんなこ、ちむいて……と、H子さんのリードでうたをうたいながら、(⊕)に背を

むけて、おしかけてくる人の方へくるりと転換戦術。あれは見事や、た。

▼ 背中で対峙するというのは、挑発にのらん一番の方法や。



Eiko (⊕)

告

者に「10年後にはフシミア付くことまちがいないの」「フシミア」をフシセント申し上げます。
 ▼(なお、当方手違ひで、本月末までに到着せぬときはお申し出下さい。)

其侍

▼そこをいっせいにみんな後向きに坐りこんだら、むこうはキも足も出にくいんやけどなあ。

▼ところが両はしのスキ面からせせり出して、いざといふたら飛び出しそうな元気のいい人たちが、やっぱり(主)に向って何やかんや云うてるし、そのうちからどんどん人が寄ってきて押し出してくる。

▼わたしらの歌が「エツヤナイカ エツヤナイカ」になって、みんなが大きなウズのようにふくらんで勢いがついてきた。そのあたりいうか熱気で、いったん後むいた列も又いつしか前むきに対峙していたな。

▼(主)がうごきそうになってきたので、むこうが来たなら、こっちから道をあけて、あつさり通したらエエと話していたら、(主)がどおと左はしの一角へおしこんできた。

▼そんで、こちらは「どうぞ、どうぞ」と、交通セイリのつもりで道をつくって、中へ入れようとしたんやけど、それが後からどおとどおしかえしてくるし、どうしようもないねん。

▼「道をあけるて、どういうつもりや、おしかえすんやしらってすべし見百希で活動家ふうの女の人におこられた。

▼あの場合、道をあけて入れながら、一メートルほどの間かくをとって、水が流れこむようにやわらかく取り囲んでしもたら、と思たんや。ムリにおしこんできても陣地戦やないし、ずうっと後方があるんやからどんどん引き下って、へというても両側の歩道は排除でけへんのれんに、でおし戦法でいこう、と思たんやけどな。

▼「非暴力」いうんは、自分が暴力をふるわんいうことだけやなしに、もっと根本は、相手に暴力をつかわせないようにする方法。『相手の暴力を無効にする対応』かなやけどな。

▼いろんな人が来たからなあ。

▼いろんな人がいるときは、その中で全体のようすを見ながら、その人たちの動きをも自分の中に取りこんで、自分かどう動くか、という問題の立て方しかでけへんのやけど、ムズかしいよね。

▼それこそ臨機応変に、その場にあわせて一しよにどう動くしかないもんね。

▼うまいことハズミとして、そんな動きをとる人が要所要所にあるときは人ほど出てきたら、(主)も、きつこアゴつ

いて、たゞ押しまくり一線を破るという、いつものやり方がでけへんかったかもね。

▼ もっと「非暴力直接行動」の宣伝をせんとアカンね。

▼ いや、そういう云い方やと、「我田引水」の自己主張になって、かえって運動のなかに異見と対立を持出すことになると思う。

▼ アメリカのシールブルック原産建設予定地に全米から集った千四百十四人^(の)たちが座りこんで全島逮捕されるという非暴力の大行動があったけど……

▼ あれは、園中からばらばらに来た人も20人ぐらいの小グループに編成して、その中の一人が全体会議やトレーニングに必ず出て、内容をみんなに伝えるという、準備に相当な時間をかけた行動やった。

▼ ケイ官やガードマン、社員との対応の仕方、静かに話す訓練、排除されるべき全身の力をぬいてむこうの暴力を出させない法とか、逮捕後の家族と本人の救援態勢とか、いったことの心得を、それぞれが一応知っていた。

▼ 「非暴力」の行動というとき、一人でも破ると、それかきかけで敵側の暴力を引き出すことになるもんね。そ

▼ 3月27日、いまも狼煙が、大集会、二百人の席がつくってあります。おともだちをさして、10
て、ぜひきてくださいわ。

やからそのために、普段からいろいろいな非暴力トレーニングが全体として必要やいうのは思うんけど……

▼ しかしいま日本でシールブルックみたいなことを実現したい、いうのはムリやし、現実的やない。

▼ いま市民運動が云うてる「非暴力」は、「暴力に反対」ということの云い替えぐらいのもので、それやからみんなアッサリ合意してるので、それ以上の意味は求められへん。

▼ うん、^(でも)それだけやったら「非暴力」は受身のごく消極的な意味しかないやろ。

▼ ガンジーやルサー・キングのような、暴力に抵抗する唯一の「方法」として、或は、なぜ「非暴力直接行動」なのかというアクティブな非暴力行動の意味がまだまだ考えられてえへんいう状況のなかでの「ただの」「非暴力」いうことになるやろ。

▼ それが一番ようわかるのは、たとえば2・12の四電前のせまい道路上で、^(キ)や^(K)に向いあったときの対し方や。

▼ そのときのこと、女グループのなんでもニュースに載ってるけど……

▼ 3月27日、いまも狼煙が、大集会、二百人の席がつくってあります。おともだちをさして、10
て、ぜひきてくださいわ。

※ 付録として、別紙に女グループのミー入の一部と手直をも同封します。

なにかかんと原状に近づきませう

▼ 非暴力は、リクツヤスローガンでなく、行動で態度で、は、きりするもんやな。

▼ あのときの女グループの動き方は、やっぱり10年向かってきた経験と考え方が、その場に即して出てきた、ほんまの実力やいうてもえええ思たな。

▼ 女グループは、別にとくに「非暴力」を追求してきたわけやないけど、非暴力というのは何であるのかを、いつのまにか体得してる。

▼ ほくは、ニュースを読んでほんまに感嘆した。非暴力行動の実践においては、女グループはもうスゴイもんやとおもた。ほくなんかの云うてきたことを超えている。

みんまにも

▼ ニュースを転載してぜひ読んでもらいたいもんや。



Eiko

▼ もうそれでこれ以上つけくわえることない？

▼ それな、より大きな視野に立って言えば、10年未、ぼくらも云い、少数の女グループがぼそぼそやってきたこと、やるうとしてきたことが

高松では、ほんとに突然三千人、四千五百人の人たちのものになってひろがっていたという発見と、おどろき、やってきたことへの確信いうこっちゃん。

▼ 四国行動は、当然のこととして若干の混乱、試行錯誤があつたにしても、全体としてみれば今までの運動にはない新しい人たちの新しい質をもった、新しい運動の方向と可能性を創り出したというところは間違いない。

▼ こんどの四国行動をきっかけとして、これからも続く何ごもの行動経験のなかで、「非暴力直接行動」はもっとはつきりし、もっと重大な意味をもってくるやろ。

▼ いろんな運動のなかから「非暴力直接行動」が云われだすのは、もうちょっと時間がかかるやろ。けど、いよいよこれからやナ。

▼ それにしても、女グループみてて僕なんか、もう出る幕やない。すっこんでみてるだけでエエんやーとつくづく思った。

終りのはじめ

▼ 四国へいくとき、一万人も集ったら、それこそ革命や

いうてたやろ。

▼ うん、うん。一万人も、いうたらとても常識では考えられん、ありえんことや。それ千でも二千でもすじいけど、一万というのは、マッチ一本から火事になったいうだけやしに、どんどん延焼し、燃えさかるいう事態や。権力だけやなく日本中の運動の顔色が変わる大事件や。

▼ そういわれると、69年安保、70年ベトナム反対の状況を思い出すけど……

▼ それとちよつとちがうけど、もし一万人集ったとすると、あの9・14千人集会の経験で判断してしそのうちのあよせ七千人ほどは生れてはじめて、こんな行動に参加したという人で、残り三千人のうち千人が今までの反原発運動者として二十人はその勢いを聞き伝えて、招かれんでも、よし、とや、てくる全国各地のいろんな運動のなかの活動家、とぼくは思ったわけや。

そのときまでまななたちが、三者三様に一万人行動から受けた衝撃は、その後全国にちらばりながら、共通の質でつながって、一写もたたんうちに日本中の運動の質も変えるにちがいない。ーとしたらそれは革命やないか、と……

▼ 3月27日(月)一時からの「いまこえ 狼煙」を大集会では、講談あり唄ありスークありでのろこのつもとどりどり、あまたの飛び入りも大歓迎です。

▼ でも、実際は、四千ぐらいやった……

▼ 問題にしているのは教やないねんけど、やっぱし一万というのはエライことやいうことやな。と共に、それだけにまた四千五百もほんまにスゴイことやねんという認識で改めてとらえがえす問題やな。

▼ そこで、一万人やなく四千余人集ったこんどの「四国行動」について、「まじめ」と、どういふことが出てくるやろか。

▼ 何というてもオーに反原発運動が、いっききに「現地主義」から脱皮したことやな。四千五百人がつくり出したこれが革命や。

▼ 今までは現地主義こそが反原発運動を支えてきたんやけど、その一面、^{現場}限界が運動を古い体質にとじこめてたし、現地と都市の關係がなんや主従のようや、ほんまは都市こそ反原発がいわれなあかんのに、それが阻まれてきたようなところがある。

▼ 4エール/アイルの事故で、もうどこもみんな現地になつてしまつたといわれたけど、その意味では本来原発に現地は、はじめからないんや……

3月27日はきこゆ。虹の会一同でお待ちしています。

休業中というのが実態やった。

▼ こんどの高松では、はじめて運動に参加したような人が、みんなすと踊ったり唄ったりしてたけど、ほんまに楽しそうに、自然に体が動き出すというかんじで、うちらが七年前ぐらいにやりだした「エッジナイカ」しか何の抵抗もなくす。ほりここに引きつがれてるーと、びっくりした。

▼ うちら、ずっと、あんなことばっかりやってきたんやけど、私なんか今こそそそ平気で街頭で唄ったり踊ったりするし、それが楽しいし、それで解放感があるんやけど、はじめ、から、なんの抵抗もなく、すつとそうなたわけやない。

▼ 運動は楽しく、
いろんな表現
で、遊ぶように
やらんとホー
自分がおもる
ならし、続かへんー



▼ 知識でわかってても、遠い現地を応援するのが反原発運動やいう現実があると、都市ではというより現地でない一般の人には運動をやる実感というか、自分のこととしてなかなかつかまれへん。

▼ それを何より具体的にひっくりかえすキツカケをつくったんが九州の小原さんたちやった。

▼ 四国(伊方)を九州(大分)の自分らの問題、自分とこの運動にした訴え方は、(自覚の有無を問わず)ほんまに今までにはないものや。

▼ 地域を超えた新しい反原発運動のはじまりやな。

▼ 何耳かまえ、スエーデンの原発に反対してノルウェーやったかデンマークの人たちが大きなデモしてたのと似てるよね。

▼ それと、それを大きく先導したというか、何とってても広瀬隆さんの著書と日本中を駆けめぐったスゴイ講演活動と、その大きな影響者や。

▼ いままでぼくらは、「反原発は都市でどれだけ運動がひろがるかが勝負や」というて「不払い連」をやってきたけど、千トドヤまがいの宣伝戦にくたびれて、このころは

いりりワツがあつて、意識的にそれを創り出す—という感じがどこかにあつたもんな。

▼ うちの「歌劇舞踏」は、周りの運動からは異端視されて、ずっと小教派のまた小教派やった。たゞ「運動キライ」の女たちにだけは、ずつと受け入れられたけど……

▼ とはいうても、「現地主義」のように敵がはつきりと思へんから、「都市の反原業」を標榜するがぎり、反原発は田舎き方、くらし方の日常」を自らの向題とするしかあれへんかった。

▼ それで、電気料金不払いの戦術として「指定不払い」を考え出して、関西電力に五月のハエのごとくいやがられたり、電気を切るという通知に、電気代を供託して執行停止仮処分を申請して裁判したり、それから株を10万円分買つて10人の女たちで分けて、株主総会にのりこんで、総会屋の兄ちゃんから「ガンバレヨ」なんていわれたり……

▼ あの電気料金値上げの切換のとき、奥電が日割計算のやり方をごまかしおつて、10億円も増徴した時、うちの大家伝で計算やり直しさせて、お金を返させた。こんなときは、運動と関係なく金儲けがえしてもちろたん

ウリ事務所内鎖！！

あの大まかな二本のクスの木が目印の古びた石段の上のアパート303号室

(ウリ事務所)、3月で内鎖します。▼ しままで利用に提供していた印刷機使用は

不調のため

当分中止します。

出てきたもんな。

▼ 札ビラつくつてがせられたり……

▼ ほんまに、あの半この年でようやったでな。

▼ しかし、やっぱ「のれん」にうであし「やから、こちも種まかれるし、だんだんしんどなつて……

▼ おいちけんが「つかれくたびれ都市の反原業運動」論ゆうの書いってから、もう三写近くたつの人とちがう？

▼ そのへ降つてわいたような「四国行動」が、ばあつとぼくらのもたもたしてる足許を照し出してくれたーといつてもエエ。

▼ 四国へきて、わたしがまず見つけたものは、10写前の反原業をやり出した初心のころのわたしらの姿やった。

▼ こんどの行動のなによりの特ちようは、みんながそれぞれ「自分の運動」として「自分」を携えて、四国高松へやつてきたことやと思うねん。

▼ そういうのは、きりした意識がなくても、みんな自然にそうやったーといえるんやないかしらね。

▼ それは、やっぱ「小原さんたちが、自分の運動」としての「自分」をはつきりと出し、そういうやり方で人に呼

▼3月28日は引越し荷物も大山へ送る荷造り。手伝える人電話ねかいます。

びかけ、そういうやり方から人が集ったということやる。
▼あの「申し合せ」に、その気持ちがいよいよ出てくる。

▼四国行動が今までと、どれほどちがってくるかは80年代はじめの「公明とヤリニグ」阻止で共闘や賛賞へ数千人、やっぱり全国から集まったけど、それと比べてみたらすぐ判るやろと思う。つまり、そもそも「集り方からまるでもちこてる」んや。

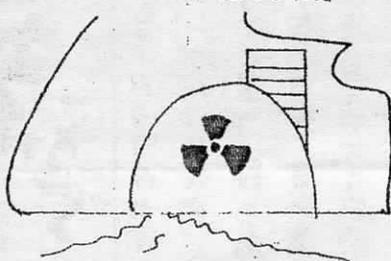
▼それが現地主義を超えたという意味での「革命」やな。

▼で、この「革命」を、今まで反原発をやってきたもんがどう受けとめるか、や。

この新しいエネルギーを受けとめ、古い運動体質をかえていかなアカン。

▼これからのぼくらの問題は、四国行動によって改めて照し出されたことを、積極的意識的に何じもとらえかえし、みんな初じにかえって、小原さんたちのエネルギーを自分のなかに汲みとることや。
(ふう&こっ)

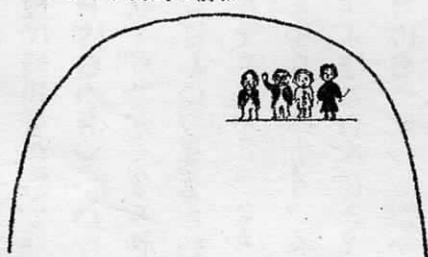
1
安全である証しに
皇居に原発が建てられた



2
皇居は総ガラス貼りの
ドームと化した



3
今年一回の一般参賀は行なわれ
ガラスのむこうで
手をふり国民の前に



4
これこそ
原発大国ニッポンの象徴だが
遠くで人が手をふる姿だけが
なんとなく見えるそうである



加まぢから

▼2月3日(水) 実は南電で、すでに出力調整実験をやっているというではないか。敵は本能寺ならぬ南電や、ゆうこじで緊急行動。二百人くらいがかけつけた。この集り具合がすごい。

▼2月5日(金) 虹の会、発送作業。

▼2月7日(日) 麦の会の人たちが半日がかりで準備した河鳥英五をよんでの刑廃止コンサートに大阪から一人ぐらゐ参加せねばと、上京した。2時南電やのにもう1時ぐらゐから列ができておどろいた。千人達成。夜は、安保拒否百人委員会の仲間と久しぶりに。8日は、たけもとのぶひろさんに面会した。17日が結審。無罪が確定して、今年中には釜で一パイやれると私は確信している。

▼2月10日(水) 虹の会例会なのに、みんなこの日四国へむけて出発したのでホッピーと二人きり。帰ろうかといっていたら下前くんがきて、3月27日の集会の二こと話す。

▼2月11日(木) 反天皇制反靖国集会で司会をする。この集会で私が司会をするというのは、あまりに突然というか、とうとうというか。えらくまじついたことだった。

▼2月12日(金) 朝七時二十分の飛行機で高松へ。帰りは、夜10時出発の船で。長い一日。今更にはその報告。

▼2月15日(月) 「ハウ・ソー・ザ・ガサ」の集り。あんな令状でガサぐるんやったら、もはや、クマさんハッさんとこにもいつ来るかわからんこ時世やいうこと、ちや。ちこうがその気なら、こちとらもそのつもりで準備せにやならんとゆうわけです。千田もの高い入場料にもかかわらず、三十人ほどの人がきてくれはった。

▼2月17日(水) 虹の会例会。この日3月27日の集会のプログラムができあがる。当日楽しみな集会になるぞ。

▼2月20日(土) ガサに対する灌抗告の作戦会議。参加者は丸尾さん。かたつむりの会の 国勝もやる方針。

▼2月24・25日 「死刑と人権」の印刷と発送。あわ、これから木下さんと谷口さんに、すじ、をおご、てもらう。

▼2月25日 現代と理論社からたのまれて、原稿25枚を書く。こんな宿題をかかえていると、ほんと、その月が暗くなる。

▼2月27日(土) 甲山事件10周年集会に参加。スライドをつかった10周年ふりがえる基調報告にあつたため、この集会の準備に寝るひまもなく、今日になりました。

▼この日2月中旬に出すつもりで準備してたんですが、